

# 「ブラジル人はノリがいい」 日本・福井で暮らす外国人 を支える牧師

## 河野 カロスさん

ブラジル連邦共和国出身。  
ブラジルの大学を卒業後、来日。日本で働くうちに牧師になることを決意し2008年から福井で暮らす。現在は、越前市の教会で牧師として働きながら、震災復興や外国人のサポートを行う。



### — 日本に来たきっかけは？

初めて日本に来たのは1989年で24歳ぐらいのとき。こんなに長く日本に住むとは思っていませんでした(笑)。最初は三重県にいたんですけど、日本にいるのは1年ぐらいだと思ってたんですよ(笑)。

ブラジルで建築の大学を出て、就職する前に日本に来ました。最初は観光したり工場で働いたり、日本の文化を学ぶのが目的でしたが、そのときの友人に、東京のコンピュータ関係の会社で働かないかと誘われたので、一旦ブラジルに帰って、また日本に来ることになりました(笑)。

コンピュータ会社で働いているときに教会に通うようになり、徐々に神様に仕えたいと思うようになりました。それで、またブラジルに帰って3年ほど聖書学校に通い、牧師になることを決めました。

そして、再び来日。今回は宣教師として千葉に行きました。しばらくそこで過ごし、2008年に福井に引っ越しました。当時、越前市にはブラジル人の教会が無かったので、私が始めました。



カルロスさん(左)とインタビューに同席してくれた息子のダヴィさん(右)

### — 今回、取材に参加してくれた息子さんによると

大学進学の話で、日本では滑り止めの大学に行くことがありますよね。ブラジルでは、第1志望一択です。合格するまで何回もトライします。

あと、やりたいことが明確じゃなかったら、しばらく自由な時間を持つのもブラジル人ですね。自分は日本で高校を卒業したんですが、将来のことが定まっていなくて、両親は僕にいろんな経験をして欲しいという感じだったので、ブラジルに行きました。それで、ブラジルの大学に入ることになったんです。

### — 東北の復興ボランティアについて

2011年に東日本大震災が起きたとき、私はこの教会に通う人やブラジル人の知り合いを集めて現地ボランティアに参加しました。

最初の頃は、がれきやゴミを片付けたり、生活用品を仮設住宅まで持って行ったりしましたね。夏の時期にも2、3回行ったんですけど、トラックで冷凍庫を持って行きましたよ(笑)。それで避難所でアイスクリームを配ってパーティをしました。12月頃にも4回目として行って、クリスマスパーティも開きました。震災直後だけでなく、長期的にボランティアに参加していたので、復興していく様子も間近で見えていました。

### — 日本人とブラジル人の違い

ブラジル人はやっぱりノリがいい。誘われたら何でもやりますよ(笑)。あと、誰かが困っていたら、その人が知り合いでなくてもブラジル人は助けたいと思って体が動きます(笑)。

日本人は他人に迷惑かけたくないとか、心配性の人が多いですよ。何か物事がハッキリ定まっていなくて動かないのも特徴かなと思います。

東北のボランティアも明確なプログラムがあったら、もっと行くんでしょうね。最初はブラジル人の仲間を集めて、何も決めずに被災地まで行ってましたよ。行って初めて何をしたらいいのかわからないという考えなので、とりあえず何も決めずにやってみます。どうなるかわからないけど(笑)。それでも、呼びかけてみたらすごい数のブラジル人がボランティアに集まってくれました。



仲間と被災地まで冷凍庫を運ぶ様子

## 一 日本で働く外国人について

私は町内との関わりをすごく持っています。それは、仕事が牧師で町内での活動もありますし、時間的にも余裕があるからです。

越前市に住んでいるブラジル人の中には、工場勤めで夜勤も多く地域との関わりを持ちたいと思っているけど、土日が仕事でイベントなどに参加できない人も多くいます。

## 一 日本で暮らすストレス

みんなブラジルが恋しいと思っています。

日本での仕事は、時間が長いし、夜勤も大変です。そういう条件で働くことが良くないということは分かっていますが我慢して働いている人が多いです。また、言語や文化が全く違うので、それがストレスになっている人もいます。

それでも、ブラジルで働くより日本の方が賃金が高いんです。

## 一 福井で働く外国人のために

個人的な感想ですが、福井は、外国人が働くには環境があまり良くないです。愛知の車の工場では、日曜日が必ず休みだそうです。休日を同じ日にするとかしないと地域の日本人と外国人との交流は進んでいかないですね。

最近では、日本で長く住もうと考える外国人も多くいて、家を購入する人が増えています。日本で家を購入するためにローンを組む人もいますが、永住権が必要だったり、手続きが複雑だったりします。

日本で3年ぐらい働いて帰ってしまう人もいますが、会社としても日本社会としても労働者がいなくなると困るはず。外国人の労働の仕組みを見直して、日本にとどまりたくなる環境を作ることが大切だと思います。

白崎公園でのピクニックに誘ったんです。初めて来たそうで、こんなにきれいなところが近くにあったのかと感動していました。福井には、越前和紙や打刃物など素晴らしい伝統の技がたくさんあります。

## 一 福井に住むブラジル人の日本語能力について

例えば、ベトナム人の技能実習生の場合、働くために日本語能力試験が必要です。しかし、在日ブラジル人の多くは、仕事で日本語を使うことがなく日本語ができないとしても働けてしまう。平仮名やカタカナの読み書きさえもできない人が多いです。だから、ブラジル人の場合「やさしい日本語」で書いてあっても、日本語が読めないのだから分かりません。

私としては、ブラジル人にも日本語能力試験を受けてもらいたいです。そうすることで、おのずと日本語を学ぼうとするし、日本語を習うことで日本人との交流も増えていきます。

一方で、ブラジル人が多いのにポルトガル語での表記が少ない印象です。例えば、献血をする際に必要な書類が日本語か英語しかなくて、献血をする意志があるのにできないんです。献血に必要な書類がポルトガル語になっていけば、もっと多くのブラジル人が献血をしてくれると思います。

## 一 多文化共生のために

世界中の人、特に若者が興味あるのはスポーツ、アート、音楽だからそれに関連したイベントとかをやるといいと思いますね。

やっぱりスポーツは言葉が通じなくてもできるからいいですね。ブラジルと言えばサッカーですけど、ブラジル人はみんなノリがいいから誘われたら必ずやりますよ(笑)。この前、仁愛大学からブラジル人のチームを作って出てくれないかと頼まれたので、福井ブラジル代表チームを作りました。外国人に向けての呼びかけが少しでも増えてくれたら嬉しいんですけど。ブラジル人は誘われたら、いつでもやりますよ。



教会の内部

## 一 日本・福井の魅力を知ってもらいたい

私は日本に住むことが好きなんですけど、外国人のなかには、生活が職場と自宅の往復だけになっている人もいます。というのも、職場と自宅以外の日本や福井の魅力なものや場所を知らないんです。

この前、日本に4年住んでるブラジル人を越前市の



ポルトガル語が話せない子も増えており、河野さんの教会でブラジル人の子ども向けにポルトガル語教室を開催している様子

インタビュー日：2021年3月30日

## ◎ふくい外国人コミュニティリーダーとは？

「外国人県民が安心して暮らせる福井」を目指し、外国人県民等のネットワークを活かし、県内の外国人コミュニティに生活・災害情報を届けたり、日本人県民とのコミュニケーションの橋渡しや災害時の自助・共助等の担い手としてご活躍いただいています。詳しくはこちら⇒

